

Q 小児摂食・嚥下外来とは？

A 簡単に言えば、上手に口から食べられるようにするための外来です。「食べる」ということは成長と共に当たり前に来るのではなく、実は「歩く」「話す」と同じように、乳児期に学習して獲得しなければならない機能なのです。そこで、乳児期に病気などで食べる学習がうまくできないと、口から食べられなかったり、食べ物を丸呑みする「食べる機能の障害」が生じます。当外来は、食べる機能障害をトレーニングによって治療しています。

Q 治療でいちばん大事なことは？

A トレーニングは、お子様が泣いているとできませんし、お家での日々の実践が重要です。当診療室は、お子様に不安を与えないように、また、お家と似た状態で観察・指導できるようにリビングルーム風になっています。治療にはお母さんの協力が欠かせないため、私たちはお母さんとの信頼関係が第一と考えて診療しています。食べる機能障害は、何歳になっても治療可能ですが、低年齢であればあるほど、より短期間に高い治療効果をあげることが出来ます。ぜひ、お気軽に受診してください。

Q 口から食べることはなぜ重要？

A 口から食べると、脳と上半身の筋肉全体を使うため、単に栄養を補給するだけでなく、排便がスムーズになり、体力や免疫力が向上します。何にも増して、人間にとって最も重要な「食べる喜び」を獲得できるため、人生の質を向上させることにつながります。



回答は、
小児歯科 副科長
有田憲司(ありた けんじ)

■問い合わせ／小児摂食・嚥下外来 Tel.088-633-7374

■実施日／月～金曜

(受付時間 9:00～15:00、診療時間 11:00～12:00、13:00～14:00)